

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 6 年 12 月 5 日(2024.12.5)

【公開番号】特開 2023-79321(P2023-79321A)
【公開日】令和 5 年 6 月 8 日(2023.6.8)
【年通号数】公開公報(特許)2023-106
【出願番号】特願 2021-192736(P2021-192736)
【国際特許分類】

A 6 1 N 1/32(2006.01)

10

A 6 1 N 1/06(2006.01)

A 6 1 N 1/30(2006.01)

【F I】

A 6 1 N 1/32

A 6 1 N 1/06

A 6 1 N 1/30

【手続補正書】

【提出日】令和 6 年 11 月 27 日(2024.11.27)

【手続補正 1】

20

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ユーザの肌に当接可能な複数の電極群を有する肌処理装置であって、
前記複数の電極群は、第 1 電極群と、第 2 電極群と、を含み、
前記第 1 電極群は、第 1 円周に沿って第 1 所定角度ごとに配置される複数の第 1 電極を
含み、

30

前記第 2 電極群は、前記第 1 円周と同心かつ前記第 1 円周より径が大きい第 2 円周に沿
って第 2 所定角度ごとに配置される複数の第 2 電極を含み、

前記複数の第 1 電極のうちの、前記第 1 円周を基準とした周方向で隣り合う任意の 2 つ
は、互いに対する離間距離が第 1 距離であり、

前記複数の第 2 電極のうちの、前記第 2 円周を基準とした周方向で隣り合う任意の 2 つ
は、互いに対する離間距離が第 2 距離であり、

前記第 1 距離は、前記第 2 距離よりも小さく、

前記複数の第 1 電極と前記複数の第 2 電極とは、前記第 1 円周を基準とした径方向で第
3 距離だけ離間し、

前記第 3 距離は、前記第 1 距離よりも小さく、

40

前記複数の第 1 電極のうちの、前記任意の 2 つの離間距離は、前記第 1 円周を基準とし
た径方向に沿った所定長さの区間にわたって前記第 1 距離を保つ、

肌処理装置。

【請求項 2】

前記複数の第 1 電極は、前記第 1 円周の中心を通過して交差する複数の直線状の領域によ
り分離され、前記直線状の領域の幅は前記第 1 距離である、請求項 1 に記載の肌処理装置
。

【請求項 3】

前記複数の第 1 電極は、前記第 1 円周を基準とした径方向の幅が第 4 距離の円環を周方
向間で分断した形態を有し、

50

前記複数の第 2 電極は、前記第 2 円周を基準とした径方向の幅が第 5 距離の円環を周方向間で分断した形態を有し、

前記第 4 距離は、前記第 5 距離も大きい、請求項 1 または 2 に記載の肌処理装置。

【請求項 4】

前記複数の第 1 電極の個数は、偶数であり、

前記複数の第 2 電極の個数は、奇数である、請求項 1 から 3 のうちのいずれか 1 項に記載の肌処理装置。

【請求項 5】

互いに異なる複数種類の出力モードで前記複数の電極群を介した出力を実現する制御装置を更に備え、

10

前記複数種類の出力モードは、前記第 1 電極群を介して加熱用の高周波波形を出力するモードと、前記第 2 電極群を介して筋電気刺激用の波形を出力するモードとを含む。請求項 1 から 4 のうちのいずれか 1 項に記載の肌処理装置。

20

30

40

50